

変わる時代の確かな視点

News Release

《東京大学・ニッセイ基礎研究所共同研究プロジェクト》

原子力発電所事故避難者のこころの健康と ソーシャル・キャピタル

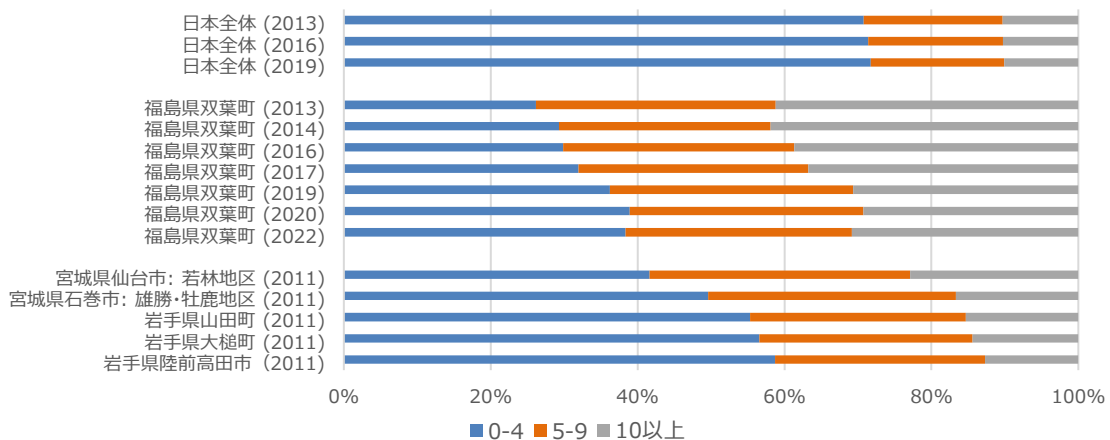
－ 帰還開始後初の双葉町民を対象とする調査(第7回調査)* 結果公表のお知らせ－

2023年3月1日

株式会社ニッセイ基礎研究所（代表取締役社長：手島恒明）は、東京大学大学院経済学研究科教授澤田康幸と弊社准主任研究員の岩崎敬子との共同研究（東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクト）として、東日本大震災による原子力発電所事故で全町民が避難を余儀なくされた福島県双葉町の全世帯主を対象に行われてきたアンケート調査（過去実施：2013年7月、2014年12月、2016年7月、2017年12月、2019年7月、2020年12月）の継続調査として2022年10月に行われた第7回調査の結果を公表いたします。双葉町は2022年8月30日に避難指示が解除されたため、今回の調査は、これまで行われた7回の調査で初めて、帰還開始後に行われた調査です。本研究では、これまで主に以下のことが明らかになっています。

- (1) 図のように、双葉町民のこころの健康状態は他の被災地での調査と比較してもより深刻な状態にある可能性があります。震災から11年以上が経ち、長期的には少しずつ改善傾向が見られてきましたが、2020年から2022年の間ではそうした傾向が止まっています。こうした動きから見てみると、回復にはより長い時間がかかる可能性が考えられます。

図. 日本全体、双葉町、その他被災地の心理的ストレスの度合い (K6) の分布



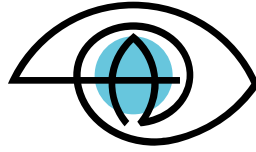
注) K6は心理的ストレスの度合いを示すもので、大きな値ほどストレスの程度が高いと考えられます。出典) 双葉：東京大学「災害からの生活基盤復興に関する国際比較」プロジェクトによるこれまでの調査。日本全体：国民生活基礎調査(2013, 2016) その他地域：東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査(研究代表者：林謙治) 2012

* 第7回調査は、双葉町民を対象とした本継続調査において、初めて帰還開始後に行われた調査です。



RESEARCH

株式会社ニッセイ基礎研究所 102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 | Tel.03-3512-1800 [代表] | Fax.03-5211-1058 | www.nli-research.co.jp



変わる時代の確かな視点

- (2) 中でも、仮設住宅に長期にお住まいの方のこころの健康状態が深刻な状態に置かれていた可能性がありましたが、仮設住宅にお住まいの方が少なくなった現在も、みなし仮設住宅の住民の方や、復興公営住宅の住民の方のこころの健康状態は深刻な可能性があり、継続的なサポートが重要と考えられます。
- (3) 震災による健康状態や所得の変化について、悪化・減少幅が大きいほど幸福感も悪化している傾向があり、震災前の幸福感の状態に回復するには十分な補償が必要であると考えられます。
- (4) 震災で双葉町民の社会関係資本が減少させられ、回復には長い時間がかかる可能性があります。
- (5) 震災前からのつながりを保つこと、震災後、趣味の会やボランティア活動などに参加することによってこころの健康状態を良好に保つ助けになる可能性があります。
- (6) 避難先の地域の住民との関係構築は少しずつ進んでいる傾向が見られますが、その傾向は非常に緩やかで、現在も重要な課題であると考えられます。
- (7) 被災による現在バイアス(先送り傾向)の増大が、こころの健康の悪化につながる可能性があります。住民同士の交流や規則的な健康行動を促す政策がそうした悪化を防ぐ可能性があります。

本調査結果は、調査にご協力頂いた20%前後の双葉町の世帯の方のご回答のみを集計・分析した結果で、この結果が双葉町民の方全員の傾向を表すものではございません。震災という大変な状況が起こったあとにご協力いただいた調査であるため、回答者の内訳は一般的なアンケート調査とは大きく異なっている可能性もございます。その為、健康状態の自己評価についての集計や、こころの健康状態についての集計においても、必ずしも双葉町全体の傾向が偏りなく示せていない可能性が考えられます。結果の解釈には十分な注意が必要であり、この調査結果のみによる断定的な判断は避ける必要がありますことにご留意ください。

※ 詳細については以下のレポートをご参照ください。

- ・ 日本語 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=74018?site=nli>)
- ・ 英語 (<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=74020?site=nli>)

※ 第5回までの調査結果は、以下の書籍で出版されております。ご興味に合わせて参照ください。

岩崎敬子『福島原発事故とこころの健康 実証経済学で探る
減災・復興の鍵』（日本評論社）2021年3月

<この件に関するお問い合わせ>

株式会社 ニッセイ基礎研究所
102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-7 | www.nli-research.co.jp
経営企画部・広報担当 笹倉正路
Tel.03-3512-1828 | sasakura@nli-research.co.jp
保険研究部 岩崎敬子
Tel.03-3512-1882 | kiwasaki@nli-research.co.jp



RESEARCH